

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント  
代 表 者 名 代表取締役社長 富士本 淳  
(東証スタンダード・コード 6425)  
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 竹内 東司  
電 話 番 号 03-5530-3055 (代表)

## (開示事項の経過) オカダ・マニラの施設及び運営奪還に関するお知らせ

フィリピンにおいて TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC. (以下、「TRLEI」といいます。) が運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」で発生した、当社の元取締役である岡田和生氏 (以下、「岡田氏」といいます。) とその指示を受けたグループによる施設占拠等の行為について、進展がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 概要

2022年7月12日付「TRLEI 四半期実績開示の延期に関するお知らせ」に記載のとおり、2022年5月31日、当社の元取締役である岡田氏とその指示を受けたグループが、「オカダ・マニラ」の施設に侵入し、施設及び運営を奪取したままオカダ・マニラの運営が続いておりました。

この度、2022年9月2日付で PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation : フィリピンカジノ運営公社 / 以下、「PAGCOR」といいます。) は、2022年4月27日付の最高裁判所が発出した原状回復命令 (Status Quo Ante Order / 以下、「SQAQO」といいます。) は、岡田氏を TRLEI 取締役、CEO、株主、会長として解任される前の原状を回復せよという命令であり、岡田氏に新たな TRLEI 取締役会を結成する権限はないため、違法に任命された岡田氏グループが率いる TRLEI 取締役会を認めないことを決定しました。また、当社の 100%子会社であり、TRLEI の議決権の 99.9%を保有する Tiger Resort Asia Limited (以下、「TRA」といいます。) についても、岡田氏を TRA の代表者に就任することは認めておりません。

同日、PAGCOR の代表者は、フィリピン国家警察 (PNP) の支援を受けて、岡田氏グループが率いる取締役会、その代表者、非従業員らに対して上記の 2022年9月2日付の決議命令を執行し、当社グループはオカダ・マニラの施設及び運営の管理権を奪還いたしました。

#### 2. 今後の予定

岡田氏グループは、各部門の主要従業員を不当に解雇し、かつ指示に従わない従業員をも解雇していること、さらには契約書等の証憑資料の廃棄や無断での社外への持ち出し、一部の実物資産の不当取得 (CAGE (カジノ営業エリア内の両替及び現金管理部門) 内に管理している金額の一部持ち出し)、デジタルデータの改竄等を行っていることが想定されることから、本件事案の調査、財務諸表への影響の検討等、運営体制の正常化に努めてまいります。

また、2022年8月15日付「2022年12月期第2四半期報告書の提出期限延長申請に係る承認のお知らせ」に記載のとおり、SQAQO はフィリピン最高裁判所にて再審理中です。控訴裁判所は、9月中旬頃までに事実認定結果を最高裁判所に戻します。そこから最高裁判所は、さらに1ヵ月程度の審議後、判決等の交付の予定です。なお、岡田氏は最高裁判所の最終判断が出るまでの間、TRLEI の取締役にとどまります。今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

当社グループからのお知らせについては、下記よりご参照ください。

(September 4, 2022 - Okada Manila Press Release: Cojuangco-led board ousted PAGCOR intervention brings order to Okada Manila)  
<https://www.tigerresort.com/en/news.html>

以 上